

農業生産法人(株)エコ・スマイル（霧島市）

グリーン・ツーリズムで地域を活性化したい

「農山漁村での滞在を楽しみたい、と思っている人やかつてのムラの姿を懐かしく思う人は多くいると思うが、そのような場所がどんどん失われているのが実情。グリーン・ツーリズムに取り組むことによって、過疎地で一次産業を行いたいと思っている。また、次世代を担う子供たちが農山漁村での体験をすることはとても大切なことだと感じている。」と語る株式会社エコ・スマイルの並松氏。

本事業では、安心安全な体験の受け入れを可能にするためにインストラクター研修、今後宿泊を伴う受入れを見据えて農家民宿先進地研修を行い、農業体験のモニターツアーを冬と春の2回行った。

採りたての野菜をおいしくいただく収穫祭の開催

エコ・スマイルの農場「スマイル農園」は広大。12月23日実施の（冬の収穫祭）では、トッピング用の野菜の収穫とソバ打ち体験、ピザづくり体験を行った。

40名の想定に対して52名の参加があり、24名は霧島市街から。3月17日実施の春の収穫祭では、芋煮を一つの柱に、収穫体験とそれを具材にしたピザづくりを行った。

年間を通じた受入態勢づくりに

「参加者からは年間を通じて季節ごとの体験を望む声もきかれ、旬の野菜を調理するなど、年4回受け入れができていけばと感じている。また、山歩き、バードウォッチングなど季節ごとの取組ができればと思っている」と並松氏。

行政との連携としては、霧島市観光課や霧島高原自然体験ツーリズム協議会の運営するHP掲載などのPR面で行われている。



収穫したばかりの野菜でピザづくり。



本事業で購入したピザ窯。移動可能な仕様。



芋煮会での野菜の収穫

ここがキラリ☆ 霧島市の取組

農業生産法人（株）エコ・スマイルでは「霧島市自然農法研究会」（前身：国分始良自然農法研究会）での活動として約20年前から自然と人間の共存を目指し、有機農業への取り組みや周知の活動を継続的に行っている。



採りたての野菜をおいしくいただく